

目次

概要

[CallDispositionFlag フィールドは何を Termination Call Detail 表のロガー データベースで表しますか。](#)

関連情報

概要

Termination_Call_Detail の表は、ロガーの中央データベースだけに存在します。各レコードには、ペリフェラルでのコールの処理方法に関する情報が含まれています。ペリフェラル ゲートウェイは、プライベート ネットワーク ルーティングを受信するか、変換ルートに送信される各コールの終了コール詳細データを生成します。CallRouter プロセスは、ペリフェラル ゲートウェイから終了コール詳細データを受信するたびに Termination Call Detail 行を作成します。CallDisposition と CallDispositionFlag は終了コール詳細レコードの 2 つのフィールドです。

Q. CallDispositionFlag 何を Termination_Call_Detail 表のロガー データベースで表しますか。

A. CallDisposition コールがどのように終了するかコールの最終的な処理をまたは表します。それは呼出し切断または放棄する イベントの周辺装置によって提供されます。有効値は 1 ~ 34 です。詳細については、[Cisco Intelligent Contact Management \(ICM \) ソフトウェア データベーススキーマ](#)の Termination_Call_Detail 表を参照して下さい。CallDispositionFlag フィールドは CallDisposition 補うためにその他の情報を提供するはずですが、それは Open Peripheral Controller (OPC) によって設定 されます。コンポーネントがこのコードを使用しないので、0 に常に設定 されます。CallDispositionFlag Peripheral Gateway (PG) に周辺装置の Termination_Call_Detail レコードの配信を表す次の OPC ログの太字のテキストに示すように 0 に、設定 されます。

```
16:28:01 pg2B-opc Trace: Peripheral::SendTerminationCallDetail - DateTime=04/26 15:28:00
16:28:01 pg2B-opc Trace: Periph=5004 Day=146577 RtrCallKey=29204 RtrCallKeySeq#=2
PeriphCallKey=6901 PeriphCallType=2 DBCD_PREROUTE_ACD_IN 16:28:01 pg2B-opc Trace:
ICRCallKey=2985678, ICRCallKeyParent=-1 ICRCallKeyChild=-1 16:28:01 pg2B-opc Trace:
CallDisp=13, DBCD_DROP_HANDLED_PRIMARY_ROUTE NetworkTime=1 Duration=451 RingTime=3 DelayTime=3
16:28:01 pg2B-opc Trace: TimeToAband=0 HoldTime=0 TalkTime=365 WorkTime=8 LocalQTime=72
16:28:01 pg2B-opc Trace: BillRate=-1 SegmentTime=-1 NewTransaction=78 RouteID=5020
16:28:01 pg2B-opc Trace: AgentPeriphNum=4285(-5000470) SkillGroupSkillTargetID=5014
(0x21) ServiceSkillTargetID=5039(244) 16:28:01 pg2B-opc Trace: SRCAgentPeriphNum=-1(-1)
CallDispositionFlag=0 16:28:01 pg2B-opc Trace: DigitsDialed=35031 Var1=72405460965301327629
Var2=14657729204 16:28:01 pg2B-opc Trace: Var3=35107 Var4= Var5=724 5460 9653 0132 7629
Var6=MR JOHN DOE 16:28:01 pg2B-opc Trace: Var7=MBS001 Var8=AODWYER Var9=
Var10= 16:28:01 pg2B-opc Trace: NetworkTargetID=5044 TrunkGroupID=5000 (1)
InstrumentPortNumber=295 DNIS=35107 UserToUser= 16:28:01 pg2B-opc Trace:
AnsweredWithinServiceLevel=N ConferenceTime=0 Priority=-1 Trunk=21 16:28:01 pg2B-opc Trace:
ANI=01756748633 WrapupData= ExpandedCallContextSize=0
```

注上記の値はスペース制限による複数の回線をカバーします。

CallDisposition の有効値は 1 ~ 52 です。それらは[表 1](#)にリストされています。

表 1: コール 開封

値	説明
1	ネットワークで放棄される
2	ローカル キューで放棄される
3	放棄されたリング
4	放棄された遅延
5	放棄された混流
6	放棄されたエージェント ターミナル
7	Short
8	ビジー
9	強制使用中
10	返事切らないで下さい/ドロップする
11	使用中切って下さい/ドロップする
12	接続解除/ドロップするは追加注文します
13	切って下さい/ドロップするによって処理されるプライマリ ルート
14	処理しました他を切って下さい/ドロップする
15	リダイレクトされる
16	通り過ぎて下さい
17	Intraflow
18	混流
19	Ring No Answer
20	代行受信するは追加注文します
21	代行受信する否定
22	時間を計られる
23	音声 エネルギー
24	検出する 非分類 エネルギー
25	通り過ぎ無し
26	U 打ち切る
27	壊れる aoftware
28	ブラインド転送
29	アナウンスされた転送
30	Conferenced
31	重複した転送
32	モニターされていないデバイス
33	応答機
34	ネットワーク ブラインド転送

35	ルータで放棄されるタスク
36	提供されるの前に放棄されるタスク
37	提供されるタスクによって放棄される while
38	正常な終わりタスク
39	タスク ID を得ることができません
40	タスクの間にログアウトされるエージェント
41	超過する最大タスク ライフタイム
42	アプリケーション パスはダウン状態になりました
43	完全な ICM ルーティング
44	ディセーブルにされる ICM ルーティング
45	アプリケーション 無効 MRD ID
46	アプリケーション 無効 なダイアログ ID
47	アプリケーションはダイアログ ID を重複させます
48	アプリケーション 無効 な 起動する ID
49	アプリケーション 無効 なスクリプト セレクタ
50	アプリケーション 終端ダイアログ
51	アプリケーション init の間に終了するタスク
52	切られる被呼加入者

関連情報

- [Cisco ICMソフトウェア データベース スキーマ](#)
- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)